

事務事業名		福祉ホーム事業				評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)		
政策体系	基本目標	2 やさしくふれあいのある健康福祉づくり				担当組織	担当部	こども福祉部	担当課	障がい福祉課	
	政策	3 助け合い生きがいを実感できるまちづくり				担当係	障がい福祉係	担当課長名	青村裕子		
	施策	2 障がい者の社会参加と自立の推進				新規事業・継続事業		継続事業			
	基本事業	3 社会参加支援の充実				実施計画事業・一般事業		一般事業			
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	4106	一般	3	1	2	福祉ホーム事業					
	事業区分						市単独事業・国県補助事業		国県補助事業		
事業計画	単年度繰り返し		事業期間	年度～	年度	根拠法令 条例等	障害者総合支援法、障害者総合支援法施行令細則、佐野市福祉ホーム事業実施要綱				
	事業区分						任意的事業・義務的事業		任意的事業		
	事業区分						実施方法		全面委託		
	事業区分						事業分類		支援事業		
事業区分						リーディングプロジェクト		該当なし			
事業区分						市長マニフェスト		該当なし			

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

①手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)											
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)			平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)								
家庭環境、住宅事情等により、居宅において生活することが困難な障がいのある方で、現に住居を求めている場合には、低額な料金で、居室その他の設備を利用。つまり、地域生活を支援している、(日常生活に必要な便宜を供する)施設設置者に事業委託料を支出する事務事業。			平成26年度の利用施設 「あおぎり寮」(4人) 「メゾン・すてっぷ」(前橋市)(1人)								
			活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)		
			利用者数	人	3	5	4	4	4		
			補助施設数	件	2	2	2	2	2	2	
②対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)											
障がい者 福祉ホームを運営する施設設置者			対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)		
			対象となる障がい者数(利用者)	人	3	5	4	4	4	4	
			福祉ホームを運営する施設設置者(申請者)	人	2	2	2	2	2	2	
③意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)											
地域で安心して暮らせるようになる。			成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)		
			利用者数/対象となる障がい者数	%	100	100	100	100	100	100	
④結果(どのような結果に結びつきますか?)											
社会参加の機会が増える。			上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)		
			外出支援サービス利用時間数	時間	12,947	11,929	16,000	17,000	18,000		
			訓練等給付利用者数	人	182	364	230	235	240		

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
	国庫支出金	千円	365	355	485	485	485	
	県支出金	千円	183	177	242	242	242	
	地方債	千円						
	その他	千円						
	一般財源	千円	188	212	377	377	377	
	事業費計(A)	千円	736	744	1,104	1,104	1,104	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			事業委託料	736	事業委託料	744	事業委託料	1,104
	人件費	人	2	2	2	2	2	
のべ業務時間	時間	36	36	36	36	36		
人件費計(B)	千円	140	142	142	142	142		
トータルコスト(A)+(B)	千円	876	886	1,246	1,246	1,246		

事務事業名	福祉ホーム事業	担当部	こども福祉部	担当課	障がい福祉課	担当係	障がい福祉係
-------	---------	-----	--------	-----	--------	-----	--------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	平成18年4月からスタートした障害者自立支援法の施行に伴い、今まで国からの補助金で運営していた身体、知的、精神の福祉ホームが、平成18年10月から地域生活支援事業の中の福祉ホーム事業として、事業開始。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	平成18年4月に施行された自立支援法は、毎年一部改正等があり、自己負担額の変更。平成23年度まで「あおぎり寮」へは他市町村から負担金をいただき補助金として支出していたが、平成24年度から委託料になり本市の利用者に限定して支出することになり、支出内容が変化した。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	特にない。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取り組み

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取り組み
現状維持	

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	家庭環境、住宅事情等により、居宅において生活することが困難な障がいのある方で、現に住居を求めている方について、低額な料金で住居を利用して貰い、日常生活に必要な便宜を供与する施設設置者に対して支援することは、結び付いている。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	家庭環境、住宅事情等により、居宅において生活することが困難な障がいのある方で、現に住居を求めている方について、低額な料金で住居を利用が可能な施設設置者に対して、支援することは、市の責務である。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	障がい者が地域で安心して暮らせるため、低額な料金で住居を利用して貰い、日常生活に必要な便宜を供与することは、妥当。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がない	理由・改善案	要綱で定められた事業であるが、地域生活支援事業のため平成24年度から事務委託料として支出することになり、支出内容が一層明確になった。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	類似事務事業名
	* 類似事務事業があれば、名称を記入			
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	要綱で定められた事業であるため、向上の余地はない。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	現在の受益者負担は適正である	理由・改善案	ホームの利用者には、家賃及び光熱水費等の自己負担があるため、受益者負担は適正である。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)			
現に住居を求めている方のためにもこの事業は廃止できない。				

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
現状維持(従来通り実施)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																						
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○	×																			
	低下		×	×																			